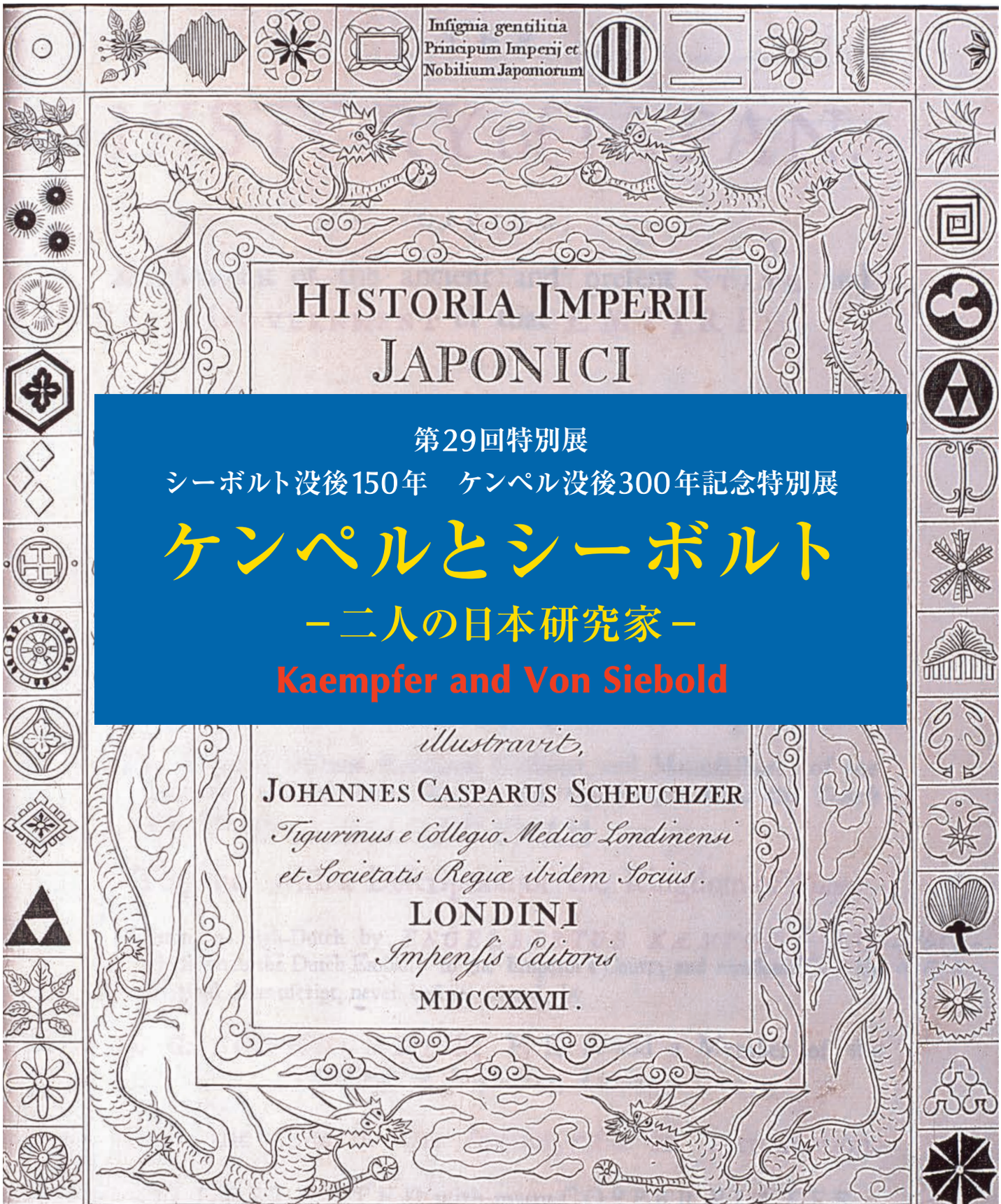


第29回特別展

シーボルト没後150年　ケンペル没後300年記念特別展

ケンペルとシーボルト

－二人の日本研究家－

Kaempfer and Von Siebold

ケンペル『日本誌』（初版本、1727年刊）扉絵（シーボルト記念館所蔵）

平成28年9月9日（金）～11月6日（日）

シーボルト記念館

〒850-0011　長崎市鳴滝2-7-40　TEL　095-823-0707　FAX　095-823-0170

平成28年（2016）は、シーボルト没後150年の年にあたります。本展覧会はそれを記念し、シーボルトの生涯と功績を物語る貴重な資料を展示します。また、シーボルトに先駆け日本研究に取り組み、今年没後300年をむかえる長崎出島商館医・ケンペル（1651 ～ 1716）についてもご紹介します。

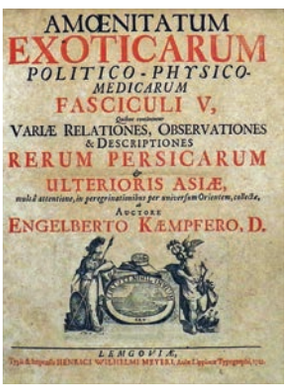
＜関連行事＞

記念講演会　「シーボルトと地方門人」（洋学史学会　会長　青木歳幸（としゆき））

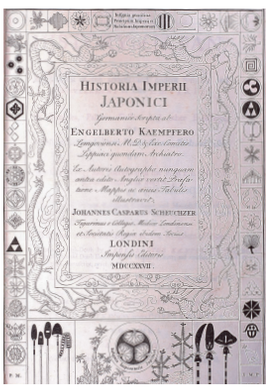
共催：長崎市長崎学研究所、長崎歴史文化博物館

平成28年9月10日（土）午後2時～3時30分（開場：午後1時30分）長崎歴史文化博物館1階ホール

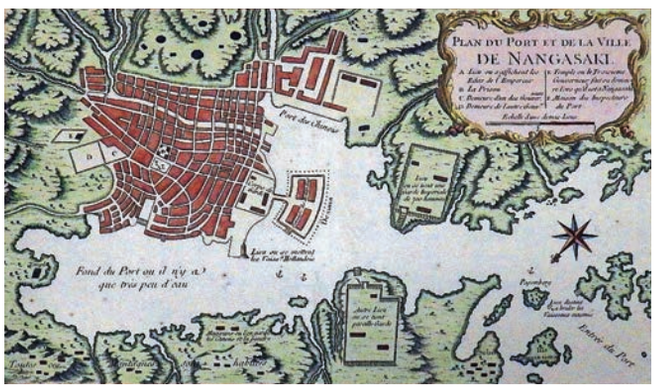
定員：140名、参加費：無料、事前申込不要



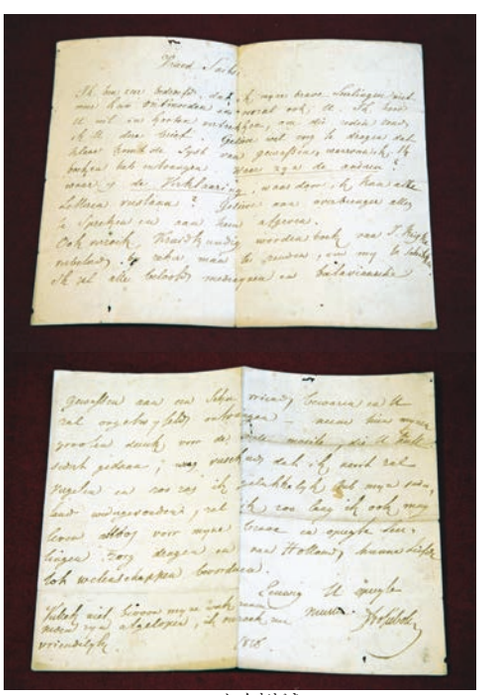
ケンペル『廻国奇観』（初版本）
1712年ドイツ・レムゴーで刊行。



ケンペル『日本誌』（初版本）
遺稿を英訳し1727年に刊行。

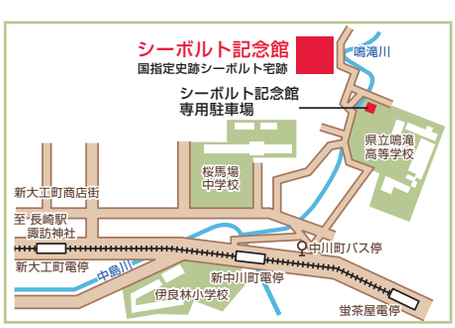


長崎図　フランスのプレヴォー編『旅行記集成』第10巻・ケンペル『日本紀行』（1757年刊行）のさし絵をもとに作成されたと思われる。



シーボルト直筆書簡（賀来佐之（かくすけゆき）あて）複製
平成28年（2016）に神田外語大学洋学文庫で発見・公開されたシーボルト自筆書簡（1828年）。
神田外語大学附属図書館所蔵。

「**独医シーボルト**」（**大久保玉珉（ぎょくみん）筆**）　長崎県出身の日本画家・大久保玉珉（1874～1949）が、再来日時に長崎で診察するシーボルトの様子を描いたもの。長崎の歴史上の人物をテーマとしたシリーズの一つで、時代考証を加え作成されている。初公開資料。



シーボルト記念館

〒850-0011 長崎市鳴滝 2-7-40
TEL 095-823-0707　FAX 095-823-0170

入 館 料

一般100円／小・中学生50円（団体割引有）

アクセス

電車「新中川町」、バス「中川町」から徒歩約7分

専用駐車場有（無料）